



岩国市立美和中学校

新しい年を迎えました。ぜひいい年にしたいですね。1年間を健康で元気に過ごすための目標をそれぞれたててみましょう。1月には全国学校給食週間や地場産給食週間があります。学校給食の歴史をふり返り、地元の食材を味わうことで、その意義や役割をあらためて考える1週間にしましょう。

## おせち料理の願いを知ろう!

おせち料理はもともと季節の変わり目に食べる料理のことです。しかし、今ではお正月に食べる料理のことだけを「おせち料理」というようになりました。おせち料理に込められた願いを知っておきましょう。

たい



「めでたい」にかけて食べられる縁起のよい魚。

えび



ながいひげが伸び、「腰が曲がるまで長生きできますように」と願う。

こぶま  
昆布巻き



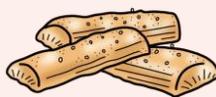
「昆布」が「よろこぶ」に通じ、1年楽しく暮らせるように願う。

たづく  
田作り・ごまめ



昔、干したいわしを田の肥料にしたことから豊作を願う。

たたきごぼう



豊作になる年に現れるという、めでたい鳥(黒い瑞鳥)に似せて、豊作を願う。

くろまめ  
黒豆



「まめ(元気)に暮らせるように」と願う。黒は魔よけの色とされる。

かすのこ・さといも



「子宝に恵まれ、家が栄えるように」と願う。

くりきんとん



富を願う金色のきんとんにめでたい「勝ちぐり」をあしらう。

だて巻き



昔の書物(巻本)に似ているので学業成就を願う。





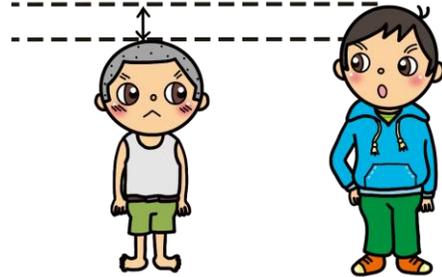
1月24日から30日までは全国学校給食週間です。

学校給食の意義や役割について、理解や関心を深め、学校給食のより一層の充実と発展を図ることを目的に行われています。

昭和20(1945)年、戦争が終わったばかりの日本では食料が不足し、栄養不足の子どもたちがたくさんいました。給食も戦争で中断されたままでした。



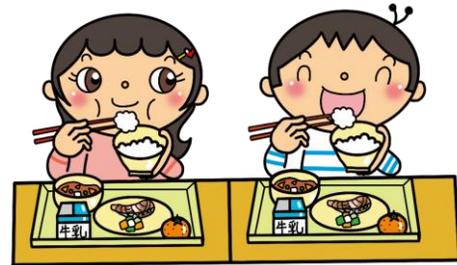
そのころの小学6年生の体は、今の小学4年生くらいの大きさだったといいます。



この日本の様子を見て、外国から食べ物の援助がたくさん送られてきました。こうして昭和21(1946)年12月24日、学校給食がふたたび始まりました。



12月24日は学校が冬休みなので、1ヵ月遅らせた1月24日から「全国学校給食週間」が行われます。給食に感謝し、その意義と役割を再確認する1週間です。



## 1月27日(月)~31日(金)に学校給食週間を実施します。 毎日食べている給食の歴史や意義を知って 感謝の気持ちをもって残さず食べましょう。

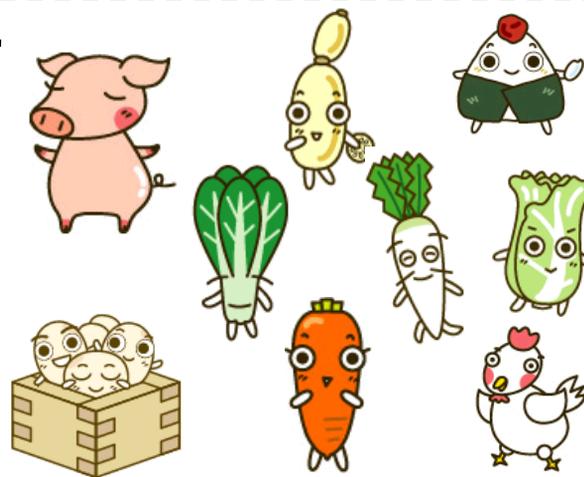
### じばさんきゅうしょくしゅうかん 地場産給食週間を実施します

美和中学校では、1月27~31日に学校給食週間を実施します。あわせて地場産給食週間も実施します。

地場産給食週間は、学校給食に地場産食材を使用し、学校給食を「生きた教材」として活用することで、生徒が地域をより身近に感じ、地域の食文化にふれる機会となっています。

美和町で生産された野菜も給食に取り入れています。地場産給食週間中のにんじん、さといも、大根、

白菜は美和町で生産されたものです。他にも山口県内で生産された食材や郷土料理をたくさん取り入れています。味わって食べてください。



今年度は、この2点を目標にして、みんなで給食時間をより良い時間にしていきましょう！

①衛生的に素早く配り、味わって食べられる食事時間を確保する。

②給食時間は食トレタイム!適正量を学び、しっかり食べよう!